

日とき 所ところ
内内容 料料金
定定員 申申し込み方法

秋のイベントガイド

いわきサンシャインフェスタ2016

観光事業課観光事業係 ☎22-7477

日10月15日(土)・
16日(日) 10時～
16時

所アクアマリン
パーク

内市内外の地場
産品等を販売・

展示する「いわき大物産展」、ふりかけの日本
一を決定する「ふりかけグランプリinいわき
2016」、旬の農産物や加工品等を販売する「い
わき農産物収穫祭」など



護衛艦「ちくま」一般公開

工業・港湾課港湾振興係 ☎22-1162

日10月16日(日) 10時～15時
(受け付けは14時30分まで)

所小名浜港藤原ふ頭

内海上自衛隊の護衛艦「ちく
ま」の見学

※同会場へ、アクアマリン
パーク発着のシャトルバスを運行します。



クリンピーの家 リサイクルフェア

☎56-3651

日10月16日(日) 10時～15時

内リサイクルに理解を深め
てもらうための環境体験
コーナー、フリーマーケット
など



10/27～11/9は読書週間 総合図書館「読書週間企画展」などを開催

☎22-5552

○企画展「写真でみる いわき市誕生」

日10月20日(木)～来年1月15日(日)

内市制施行50周年を迎えた本市の合併当時の写
真や、本市誕生の経緯が分かる所蔵資料などを
展示

○セミナー「認知症の予防と対応について」

日11月2日(水) 13時30分～15時

定40人 (先着順)

申10月15日(土)10時から同館へ☎か市内図書館窓
口で

第26回泉ふるさと祭り

泉公民館 ☎56-6045

日10月16日(日) 8時30分～15時

所泉駅前大通り周辺

内泉赤玉行列(やっこ行列、山車、棒ささらな
ど)や各種団体による演技の披露、泉商店会等
が出店する「ごっちゃ市」など

※15日(土)の前夜祭は18時30分から、いわきおど
り泉大会を開催します。



復興・久之浜漁港まつり

久之浜・大久支所 ☎82-2111

日10月16日(日) 9時～14時

内漁船の体験乗船、海の生物タッチングプール、
いわき産農水産物や加工品の販売、復興鍋市場、
芸能の披露など

※漁船の体験乗船
は、当日先着順
(定員200人)
で参加費100円
が必要です。



ニッ箭山秋祭り2016

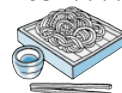
小川支所 ☎83-1111

日10月23日(日) 8時30分～14時30分

所ニッ箭山入口駐車場

内ニッ箭山麓健康ウオーク、里山コンサート、
手打ちそば、地元産品・野菜の販売など

※ニッ箭山麓健康ウオークは、事前申し込みと
参加費500円が必要です。詳しくは、同支所
へお問い合わせください。



第19回三和の里フェスティバル

三和支所 ☎86-2111

日10月23日(日) 9時
～14時

所三和ふれあい館

内地元産品・野菜の
販売、菊花・かかし
の展示、歌謡ショー
など



いわき親子鉄道フェスタ2016

都市計画課総合交通対策担当 ☎22-1120

日11月26日(土) 10時30
分～15時30分

所産業創造館

内鉄道工作教室、鉄道
絵本おはなし会、鉄道
ゲーム体験、鉄道歴史写真展示、鉄道塗り絵・
ペーパークラフトの作成など

※鉄道工作教室は事前申し込みが必要です。詳
しくは、同課へお問い合わせください。



芸術・文化の秋 企画展へ行こう!

○いわき民俗学の先達者展

暮らしの伝承郷 ☎29-2230

日～10月30日(日)

内「大須賀筠軒」「高木誠一」「諸根樟一」
「岩崎敏夫」「和田文夫」の業績から、本市の
民俗学研究の軌跡を紹介

○近世いわきの藩展Ⅲ「磐城平藩ー井上・安藤
時代ー」

考古資料館 ☎43-0391

日～11月14日(月)

内磐城平藩の歴史の中から、藩主「井上・安
藤」時代に焦点を当て、文献資料や発掘調査成
果などを紹介

○スポット展示「吉野せい」

草野心平記念文学館 ☎83-0005

日～12月25日(日)

所吉野せいの自筆原稿『涙をたらした神』『梨
花』や、著書展示

※開催時間・観覧料・休館日等について詳しくは、各館などへお問い合わせください。

かわまえの秋2016

川前支所 ☎84-2111

①鬼ヶ城収穫祭

日10月30日(日) 10時～

所いわきの里鬼ヶ城

内郷土芸能の披露、農産物・特産品の販売、福
引抽選会など

②第12回鹿又川溪谷ウォーキング

日11月6日(日) 9時30分～13時

所川前駅前(集合場所)

料500円

③第20回新そばまつり

日11月13日(日) 9時30分～11時(第1部)、正
午～13時30分(第2部)

所川前活性化センター

料1,300円(新そば、キジおこわ、天ぷらのセッ
ト)

※10月22日(土)～11月3日(日)の17時～20時にいわ
きの里鬼ヶ城で、紅葉のライトアップを行いま
す。

※②③は事前申し込みが必要です。詳しくは、
同支所へお問い合わせください。



○いわきの人物展

文化振興課文化財係 ☎22-7546

日/所～来年3月31日(金)/市文化センター

内本市の歴史上の人物のうち「天田愚庵」「安
藤信正」「片寄平蔵」「沢村勘兵衛」「祐天上
人」に焦点を当て、それぞれの功績を紹介

○川島清 彫刻の黙示 路傍・淵・水量

市立美術館 ☎25-1111

日11月3日(日)～12
月11日(日)

内彫刻の核心に関
わる問題を鋭く照
射し、圧倒的な存
在感で常に高い関
心を集めてきた川
島清の2000年以降
の作品を展示



水量ーケヤキの根(2005年)
[撮影:山本糾]

市総合防災訓練を実施

住民主導による
地域防災力を強化

同訓練は、皆さんの防災に関する意識の高揚と知識の向上を目的に実施します。本年度は「自主防災組織を中心とした住民主導による地域防災力の強化」をテーマに、市内十一地区で実施します（表1）。

訓練

11月5日(土) 8時30分
震度6強の地震が発生



※防災行政無線のサイレンを鳴らすほか、市防災メール・緊急速報メールの配信とFMいわきの緊急割り込み放送を行います。



防災講話（訓練の一例）

▼とき 11月5日(土) 8時30分～正午（遠野地区は10月29日(土)に実施）
▼訓練の想定 「震度6強の地震が発生」し、大津波警報が発表されるとともに、土砂災害警戒区域における土砂崩れ前兆現象が発生
▼内容 ①情報伝達訓練 ②避難誘導訓練 ③避難所開設訓練 ④防災講話 ⑤避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」など
※地区によって実施内容が

異なります。

訓練のポイント

○津波に備えた避難体制の充実・強化

地震に伴う津波襲来に備えた対策訓練を実施することで、災害時の被害軽減を図ります。

また、あらためて津波避難場所や避難経路を確認します。

○土砂災害に関する警戒避難体制の充実・強化

四月以降、熊本県で発生している一連の地震による大規模土砂災害を踏まえ、土砂災害警戒区域などに指定されている地域を対象に、情報伝達から避難までの一連の流れを確認します。

◇ ◇ ◇ ◇
災害が発生したときに被害を軽減するためには、落ち着いて適切な行動を取ることが大切です。訓練を積み重ねることで防災力を高めましょう。

四倉・川前地区で原子力防災訓練を実施

原子力対策課 ☎22-1204

訓練

10月29日(土)

8時00分 「屋内退避指示」

8時30分 「避難指示」が発令

※市防災メールの配信とFMいわきの緊急割り込み放送を行います。

〈表2〉一時集合場所

地区	会場
四倉	四倉高校、四倉小学校、大野第一小学校、大野第二小学校、大浦公民館
川前	川前公民館、川前活性化センター、高部集会所、志田名集会所、小白井集会所

○お問い合わせ
危機管理課災害対策係
☎22・1242

〈表1〉実施地区等一覧

実施地区	災害想定	会場
平	津波災害	市役所本庁舎（地区本部）、藤間中学校、草野小学校、荒田目構造改善センター、上大越構造改善センター、高久公民館、健登師記念会館（神谷作公民館）、薄磯団地集会所、豊間団地集会所、望洋荘
小名浜	津波災害	小名浜支所（地区本部）、小名浜第二小学校
勿来	土砂災害	勿来支所（地区本部）、大高公民館
常磐	土砂災害	常磐支所（地区本部）、藤原小学校
内郷	土砂災害	内郷支所（地区本部）、内郷第一中学校
遠野	土砂災害	遠野支所（地区本部）、上遠野小学校
小川	土砂災害	小川支所（地区本部）、塩田集落農事集会所、小川公民館
好間	水害 (河川氾濫)	好間支所（地区水防部）、好間中学校
三和	土砂災害	三和支所（地区本部）、三和ふれあい館
田人	土砂災害	田人支所（地区本部）、田人ふれあい館
久之浜・大久	津波災害	久之浜・大久支所（地区本部）、久之浜・大久ふれあい館

※主に会場周辺の地域にお住まいの方を対象に訓練を実施します。対象地域など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



本市の近況を報告する清水市長



さまざまな取り組みを情報発信

「いわき市在京・地元各界交流の夕べ」を八月二十三日、東京都港区の第一ホテル東京で開催し、首都圏で活躍する本市にゆかりのある方々と、地元の産業・経済関係者など、約四百二十人が出席しました。

また、市制施行五十周年を記念し、関連事業のPRや、本市の歴史・文化を活用したさまざまな取り組みの紹介、本市の五十年を振り返る写真の展示などを行い、魅力あふれる本市の姿を紹介しました。

出席者は、ふるさといわきの力強い復興や、五十年の歩みに理解を深めながら、交流を図っていました。

首都圏で活躍する方々へ ふるさとの情報を発信

いました。